

平成21年度材料セミナーのご案内

主催:(社)日本鉄鋼協会関西支部・(社)日本金属学会関西支部

テーマ1 「材料中の拡散－基礎からデータベースまで－」

開催日時:2009年11月20日(金) 9:00～17:00

開催場所:(財)大阪科学技術センター 4階405号室(地図参照)

プログラム

- 9:00～10:30 【講義】 拡散基礎(大阪大学・中嶋先生)
- 10:40～12:10 【講義】 合金中の相互拡散と反応拡散(大阪大学・南埜先生)
- 13:10～14:40 【講義】 半導体中の拡散(慶応義塾大学・村松先生)
- 14:50～16:20 【講義】 データベースの利用(物質・材料研究機構・松尾先生)
- 16:30～17:00 総合討論・技術相談など

講師 :大阪大学産業科学研究所 中嶋英雄先生、大阪大学工学研究科 南埜宜俊先生、慶応義塾大学理工学研究科 植松真司先生、(独)物質・材料研究機構(NIMS) 松尾宗次先生
募集人員:30名

参加費用:会員20,000円、非会員30,000円、学生2,000円(テキスト代・消費税込み)

内容:工業生産分野における合金の熱処理、相変態、酸化、クリープ、焼結、拡散接合などの技術や現象で重要な役割を果たす材料中の拡散現象について、拡散のマクロ的取り扱い(現象論)、拡散の原子論的(ミクロ的)取り扱い、種々の拡散機構、相関効果、侵入型拡散、自己拡散および置換型不純物拡散、金属・合金における拡散など、拡散現象を理解する上で重要な基礎的な講義を踏まえて、工業的に重要な合金中の相互拡散と反応拡散、そしてシリコン(Si)とゲルマニウム(Ge)の半導体中の特異な点欠陥と拡散機構について、共通点と相違点に着目しながら概説を行います。加えて、現在、物質・材料の研究開発と利用に寄与するべく物質・材料に関連するデータベースが構築されており、国内外の研究者、技術者、その他物質や材料関連の業務に携わる方々へデータベースが公開されております。本セミナーでは、特に、物質・材料の各種現象の理解の基本となる拡散データベースの紹介と利用を中心に、関連する特性に関するデータベースを含めて、(独)物質・材料研究機構(NIMS)により構築された物質・材料データベースを紹介します。

テーマ2「材料技術者・研究者のためのEBSDによる局所方位解析技術の基礎と応用」

開催日時:2009年11月27日(金) 9:30～17:00

開催場所:京都大学工学部 吉田キャンパス 工学部総合校舎 1F 102号室(地図参照)

プログラム

- 9:30～10:30 【講義】 種々の結晶方位解析法とSEM/EBSD法の原理 (京都大学・辻先生)
- 10:40～12:30 【講義・演習】 菊池線解析について(京都大学・寺田先生)
- 13:30～14:00 【見学】 FE-SEM/EBSD装置と測定見学
- 14:00～15:00 【講義】 EBSD法を用いた材料組織の解析事例(コベルコ科研・与田氏)
- 15:15～16:30 【体験実習】 実際のEBSD解析システム(TSL社OIMおよびオックスフォード社HKL)を用いた体験実習
- 16:30～17:00 総合討論

講師:京都大学工学研究科 辻 伸泰先生、寺田大将先生、(株)コベルコ科研 与田利花氏 協

力:(株)TSLソリューションズ、オックスフォード・インストゥルメンツ(株)

募集人員:30名

参加費用:会員20,000円、非会員30,000円、学生2,000円(テキスト代・消費税込み)

内容:走査電子顕微鏡(SEM)内での微小領域方位解析手段であるEBSD(Electron Back-Scattering Diffraction)法は、過去10年間に急速に普及し、現在では材料組織解析のための手段として、当たり前のように用いられるようになってきております。EBSD解析に用いる菊池線回折模様は、結晶方位だけでなく、結晶構造や格子定数、原子の規則配列などの情報も本来有しています。従って、材料表面を微小な一定間隔で走査して各地点の菊池線を得、それをもとに材料組織を再構築しようとする方位マッピングの概念は、画期的かつ極めて有効なものです。EBSDの応用可能性は非常に広範囲ですが、EBSDで実際に何ができるのか、どのような解析を行うべきなのかは、未だ十分に理解されていない場合が多いように思われます。本セミナーではSEM/EBSDについて、その測定・解析原理を基礎から解説するとともに、EBSD法によって「何ができるのか」に焦点を当て、種々の具体的な応用例も紹介しながら、受講者の将来の研究・業務に本手法がより活用されるような内容を提供します。実際のEBSD解析システムを用いた体験実習も計画しています。

テーマ3 「技術者のための鉄鋼材料入門」

開催日時:2009年12月14日(月) 9:30~17:00

開催場所:(財)大阪科学技術センター 4階404号室(地図参照)

プログラム

9:30~12:00 【講義】ミクロ組織から見た鉄鋼材料の魅力ー状態図と相変態・熱処理ー

13:00~14:45 【講義】鉄鋼材料の組織と強度ー自動車部品を例にしてー

15:00~17:00 【講義】今が旬の鉄鋼研究ー創製力と解析力ー

講師:(独)物質・材料研究機構 津崎兼彰先生

募集人員:50名

参加費用:会員20,000円、非会員30,000円、学生2,000円(テキスト代・消費税込み)

内容:鉄鋼材料はその恵まれた性質や豊富な資源量などから、21世紀においても構造材料の主役として一層の発展が期待されています。しかしながら、鉄鋼材料に関する理解の不足から、その特性が十分に生かされていない使用例もみられるようです。本セミナーは鉄鋼ユーザー、製造、流通等に関わる技術者を主な対象とし、鉄鋼材料の理解を深めていただくために企画した基礎講座です。内容は鉄鋼材料の力学的性質が製造プロセスに依存して変化するミクロ組織にきわめて敏感であることを理解することに焦点を当て、(1) ミクロ組織から見た鉄鋼材料の魅力ー状態図と相変態・熱処理ー、(2) 鉄鋼材料の組織と強度ー自動車部品を例にしてー、(3) 今が旬の鉄鋼研究ー創製力と解析力ー、について最近の話題も含めて平易に講義します。内容は大学工学部材料系学科の2、3年次の講義レベルとし、鉄鋼材料の講義を受けたことのない技術者・研究者を主な対象としますが、鉄の熱処理による組織制御の仕組みをもう一度系統的に理解し、現在抱えている問題解決のヒントを得ようとする方にも役立つ講義を目指します。

【お申込み・問合せ先】

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4

(財)大阪科学技術センター附属ニューマテリアルセンター内

(社)日本鉄鋼協会(社)日本金属学会関西支部 材料セミナー係

TEL: 06-6443-5326, FAX: 06-6443-3767

E-mail: n-kansai@ostec.or.jp

申込要領: 末尾の用紙に必要事項を記入の上FAXにてお申込下さい。申込は先着順とします。申込書の必要事項が記載された電子メールをn-kansai@ostec.or.jp宛にお送りいただいても受付をいたします。締切りは各コース開催の2週間前といたします。

以後の連絡および受講料の支払い方法については後日連絡いたします。

なお所属機関が法人会員であれば個人会員でなくても会員扱いとします。

申込先: 〒550-0004大阪市西区靱本町1-8-4(財)大阪科学技術センター附属ニューマテリアルセンター内

(社)日本鉄鋼協会・(社)日本金属学会 関西支部 材料セミナー係

(TEL)06-6443-5326 (FAX)06-6443-3767 (e-mail)n-kansai@ostec.or.jp

(ホームページ)日本鉄鋼協会 <http://www.isij.or.jp>

日本金属学会 <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jim/index-j.html>

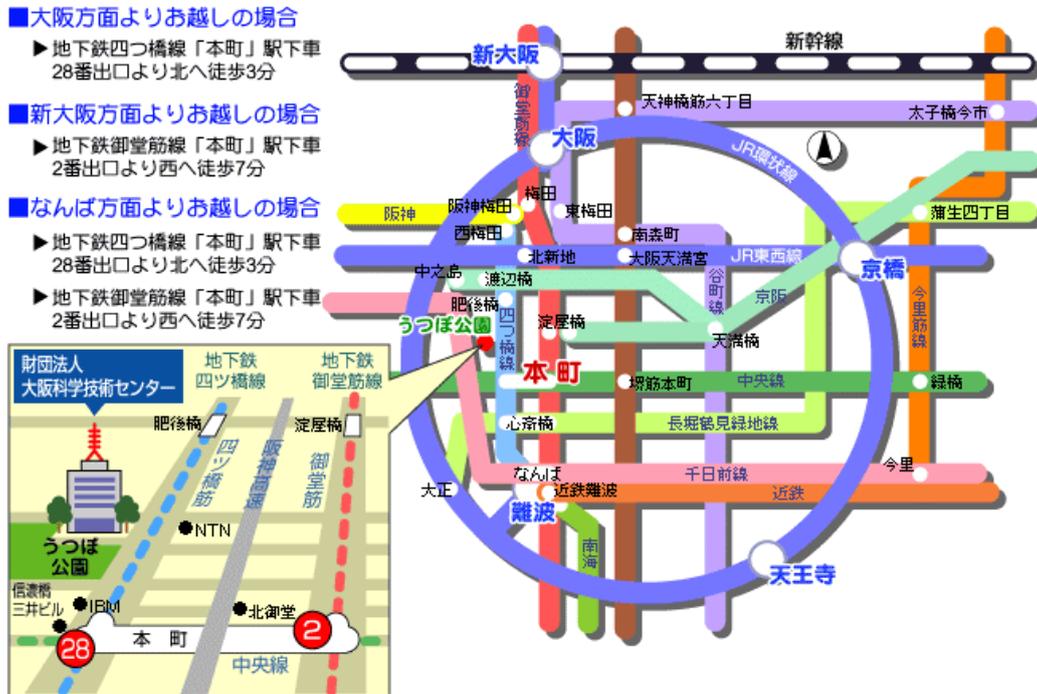
-----キトリ線-----

平成21年度「材料セミナー」受講申込書(一人一枚とします)

平成21年 月 日

フリガナ 氏名		会員資格 (○印を)	会員 ・ 非会員 ・ 学生 所属学協会・会員番号 ()
勤務先 (学校名)			
所在地	〒		
TEL:	FAX:	E-mail:	
受講コース (○印を)	テーマ1	テーマ2	テーマ3
受講されるテーマで 関心をお持ちの事 項、ご質問、および参 加目的をお聞かせ下 さい。 (セミナーの実効をあ げる上で参考にさせ て頂きます。自由に お書き下さい。)			

材料セミナー テーマ1, 3会場
 (財)大阪科学技術センター 周辺地図



以下のアドレスに詳細があります。ご参照ください。
<http://www.ostec.or.jp/data/access.html>

材料セミナー テーマ2会場
京都大学 吉田キャンパス 本部構内地図



以下のアドレスに詳細な地図と利用できる交通機関の説明があります。ご参照ください。

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_y.htm